

## 市役所職員多文化共生研修【やさしい日本語で話してみよう】(12月3日)

市役所職員の方12名、外国人市民4名、HIFメンバー7名が参加し、《市役所での窓口対応～やさしい日本語で話してみよう》をメインテーマとしたワークショップ形式の研修を行いました。初めに当市の外国人状況や外国人に配慮した取り組みをスライドで紹介し、次いで「外国人が市役所に来たときの対応」で気をつけてほしいポイントを説明。特に「外国人の言葉をよく聴くこと、わかりやすく伝えること」が強調されました。

わかりやすく伝えるコツとして、3つの”S(short, simple, straight)や”はさみの法則”(はっきり、さいごまで、みじかく)も紹介されました。文化や母国の制度が異なる人々とのコミュニケーションには個々に配慮が必要です。それには実践の積み重ねが何より大切・・・ということで、普段当たり前のように使っている窓口での言葉を「やさしい日本語」で外国人に伝えるワークに皆さん全力で取り組みました。



外国人の方から「?」マーク…  
もっとやさしい日本語に言い換えます。



😊 OK マークをもらいました。  
「東久留米市のゴミの出し方」が伝わったようです。



実技の途中では、講師からより具体的な  
対応のポイントが示されました。



どうしても伝わらないときは  
スマホの翻訳アプリが有効です。  
VoiceTraは31言語対応。